



2021年1月号
第17号

地域支えあい推進員だより

◆北外山に こども食堂 開設 準備中◆

令和3年4月24日（土）オープンを目標に、こどもの居場所「こどもっと食堂」の開設を準備しています。小牧南小学校区では、以前から、こども食堂があったらいいねとの声も多く、令和2年8月にオープンした、北外山のとよめサロンに厨房とスペースなど食堂ができる設備があることから、地域住民で話し合いを重ね、小牧南小学校区を対象に活動を始めることになりました。

このコロナ禍の中で、まだ‘集う’食堂の形が難しい場合、弁当を‘手渡す’形でスタートを切ることも検討中です。将来的には、「ココボラ」OBなどの大学生ボランティアによる、宿題の見守りなどの、ゆるやかな学習支援や、全世代が集うことができる「地域食堂」への発展を視野に入れていきます。

こども食堂



私たちがこども食堂で目指すこと...

こども達へ栄養のある温かい食事を提供しみんなで一緒に食べることで、食育や団らんの場、居場所を作ります。また、親同士や多世代の住民が交流できる場として住民が自主的に運営し、誰でも気軽に来られるよう食事は寄付による食材等も利用して低額で提供されます。

👉 この南部地区を皮切りに、小牧市内全域で、住民によるこども食堂等のこどもの居場所作りに取り組んでいきたいと考えています！

こども食堂「こどもっと食堂」

小牧市大字北外山 1470

とよめサロンにて

令和3年4月24日(土)オープン **予定**

毎月第4土曜日

※時間他、詳細は現在相談中で



↑ 写真は、私達が見学に行った名古屋市内のこども食堂の様子です。

◆コロナ禍での地域福祉活動◆

3密回避、感染予防対策を行いながら、「災害時避難行動要支援者への安否確認 声掛け訓練」を行った地域の訓練の様子をご紹介します。

検温への協力

→フェイスシールド着用



小木上区

←手指消毒への協力



要支援者もマスク着用で

→玄関先での安否確認



梵天藤栄区

←本部への報告も少人数で



机の配置も間隔を開けて

→訓練後の報告会



安田区

←安全を知らせるビブス出しは、人との接触がでないコロナ禍でも活躍



コロナ禍の今、人とのつながりの大切さを一層感じます。人との距離が心の距離とならないよう、今後も今できるつながり作りを一緒に考えていきましょう。

地域支え合い推進員とは？

年齢や障がいの有無に関わらず、誰もが住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけるような、支え合いのまちづくりをサポートする専門職です。

例えば、地域におけるボランティア活動等の立ち上げや担い手の養成、地域の活動を充実させるための仕組みづくりや、必要なつながりづくりに取り組みます。ぜひお声がけください！



小牧市社会福祉協議会 地域福祉課 地域係 地域支え合い推進員
〒485-0041 小牧市小牧五丁目 407 番地 ☎ 65-7051(直通)